



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <https://www.hotta-marusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岩 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|               | 売上高   |      | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 親会社株主に帰属する四半期純利益 |   |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
|               | 百万円   | %    | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円              | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 2,849 | 1.9  | 110  |   | 97   |   | 120              |   |
| 2021年3月期第3四半期 | 2,903 | 34.1 | 313  |   | 318  |   | 337              |   |

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 109百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 336百万円 ( %)

|               | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
|               | 円 銭         | 円 銭                |
| 2022年3月期第3四半期 | 2.14        |                    |
| 2021年3月期第3四半期 | 6.01        |                    |

#### (2) 連結財政状態

|               | 総資産   | 純資産   | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-------|-------|--------|----------|
|               | 百万円   | 百万円   | %      | 円 銭      |
| 2022年3月期第3四半期 | 4,059 | 3,167 | 78.0   | 56.32    |
| 2021年3月期      | 4,040 | 3,276 | 81.1   | 58.26    |

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 3,167百万円 2021年3月期 3,276百万円

### 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |      |      |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 2021年3月期     |        | 0.00   |        | 0.00 | 0.00 |
| 2022年3月期     |        | 0.00   |        |      |      |
| 2022年3月期(予想) |        |        |        | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高   |     | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 親会社株主に帰属する当期純利益 |   | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|---|-----------------|---|------------|
|    | 百万円   | %   | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円             | % | 円 銭        |
| 通期 | 3,900 | 3.2 | 180  |   | 160  |   | 230             |   | 4.09       |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

|                   |            |              |            |              |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期3Q | 59,640,348 株 | 2021年3月期   | 59,640,348 株 |
| 期末自己株式数           | 2022年3月期3Q | 3,395,953 株  | 2021年3月期   | 3,395,953 株  |
| 期中平均株式数(四半期累計)    | 2022年3月期3Q | 56,244,395 株 | 2021年3月期3Q | 56,244,346 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....           | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 .....               | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 .....               | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....    | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....           | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 .....               | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... | 5 |
| 四半期連結損益計算書                         |   |
| 第3四半期連結累計期間 .....                  | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書                       |   |
| 第3四半期連結累計期間 .....                  | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....        | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) .....              | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....     | 7 |
| (会計方針の変更) .....                    | 7 |
| (セグメント情報等) .....                   | 8 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年12月31日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株の影響等から新規感染者数が再度増加している地域があり、渡航制限による感染対策が続くなど依然不透明な状況に加え、世界的な原油価格の高騰や中国における電力不足などの影響もあり、景気の悪化が懸念されております。日本経済におきましては、ワクチン接種率の増加、感染予防対策の強化等による新規感染者数の減少に伴い、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言等が10月以降全面的に解除された結果、個人消費は緩やかな回復の兆しが見られました。

このような環境の中、当社では、事業の成長性を鑑みた選択と集中を進め、また第2四半期に引き続き、事業部統合による機能の統廃合、経費の見直しならびに業務効率化、生産性向上による固定費の逓減に取り組むとともに、新たな収益構築に向けた基盤づくりを行ってまいりました。

その結果、前年に比べ売上高は減少しましたが営業損失は改善し、売上高28億49百万円(前年同四半期比1.9%減)、営業損失は1億10百万円(前年同四半期は営業損失3億13百万円)、経常損失は97百万円(前年同四半期は経常損失3億18百万円)、また、助成金収入を特別利益へ、新型コロナウイルス感染症の影響により発生した固定費(休業中の人件費等)を「感染症関連損失」として「特別損失」に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億20百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億37百万円)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、組織力の強化及び生産性の向上、組織を横断した商品開発、営業力強化を実現することを目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「和装事業」「寝装事業」「洋装事業」「意匠燃糸事業」から「きもの事業」「ライフスタイル事業」「ファッション事業」「マテリアル事業」に名称変更しております。

#### (きもの事業)

きもの事業は、得意先における催事販売会が新型コロナウイルスの感染対策を徹底した上で実施され、前年同四半期に比べ集客が進むとともに、消費の回復がみられました。また業務効率化、経費削減の進捗もあり売上・営業損失は改善しております。連結子会社の(株)吉利におきましても継続した得意先への新たな商品提案、新規取引先の開拓による受注獲得が進むとともに経費削減が進捗いたしました。この結果、売上高5億61百万円(前年同四半期比6.9%増)、営業損失は24百万円(前年同四半期は営業損失95百万円)となりました。

#### (ライフスタイル事業)

ライフスタイル事業は、緩やかに消費の回復は見られたものの事業撤退となる寝装品における取引の減少もあり低調となりました。営業所の統廃合等により経費削減が進捗しましたが、売上・営業利益ともに前年同四半期比で減少となりました。また、東北地区におけるギフト事業は、第2四半期に引き続き、受注は堅調に推移するも、葬儀参加人数の抑制による影響を受けることとなり売上・営業利益ともに前年同四半期対比で減少となりました。この結果、売上高3億32百万円(前年同四半期比8.9%減)、営業利益は9百万円(前年同四半期比53.3%減)となりました。

#### (ファッション事業)

ファッション事業は、東日本事業におきましては、得意先における催事販売会が新型コロナウイルスの感染対策を徹底した上で実施されたこと、また消費行動の回復も見られたこともあり、前年同四半期比では売上は回復傾向となりました。九州を拠点とする西日本事業は、婦人洋品事業は堅調に推移いたしましたが、ホームファッション事業、ベビー・子供服事業は大手量販店からの受注減の影響で第2四半期に引き続き低調となりました。ファッション事業全体では、前年に事業撤退した馬里邑事業の売上(2億51百万円)の減少もあり、前年同四半期比では売上高は減少となりましたが、業務の効率化、生産性の向上を図るとともに、販売費・一般管理費の見直しにより大幅な経費削減が進捗いたしました。この結果、売上高9億99百万円(前年同四半期比15.0%減)、営業利益は18百万円(前年同四半期は営業損失95百万円)となりました。

#### (マテリアル事業)

マテリアル事業は、OEM受託事業ならびに製品卸事業は、第3四半期会計期間(2021年10月から2021年12月)では、取引先の売上回復もあり、前年同四半期対比で受注増となりましたが、第2四半期までの減少幅が大きく、第3四半期累計期間の売上高は減少となりました。国内の糸卸事業においては、原料調達遅延等の影響もあり、前年同四半期比で売上高は微減となりましたが、海外事業において新規取引先の開拓、受注が進み、売上高が大幅に増加いたしました。この結果、売上高9億55百万円(前年同四半期比14.2%増)、営業利益は23百万円(前年同四半期は営業損失3百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は38億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が11億94百万円減少しましたが、短期貸付金が10億円、受取手形、売掛金及び契約資産が1億11百万円、商品及び製品が66百万円、電子記録債権が54百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は1億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が21百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は40億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は8億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億31百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が1億2百万円増加したことによるものであります。固定負債は31百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主にその他が3百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は8億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億27百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は31億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失1億20百万円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は78.0%（前連結会計年度末は81.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響及び構造改革に伴い実施する事業撤退等により、2021年5月14日付「2021年3月期決算短信」にて公表しておりました2022年3月期の連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日（2022年2月10日）公表いたしました「特別利益、特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

|                | 前連結会計年度<br>(2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2021年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部           |                         |                               |
| 流動資産           |                         |                               |
| 現金及び預金         | 2,229,942               | 1,035,686                     |
| 受取手形及び売掛金      | 739,687                 | -                             |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | -                       | 851,094                       |
| 電子記録債権         | 112,759                 | 167,213                       |
| 商品及び製品         | 677,669                 | 743,975                       |
| 仕掛品            | 1,070                   | -                             |
| 原材料及び貯蔵品       | 28,575                  | 45,590                        |
| 短期貸付金          | -                       | 1,000,000                     |
| その他            | 59,927                  | 45,587                        |
| 貸倒引当金          | △14,141                 | △13,223                       |
| 流動資産合計         | 3,835,491               | 3,875,924                     |
| 固定資産           |                         |                               |
| 有形固定資産         | 82,833                  | 81,862                        |
| 無形固定資産         | 620                     | 454                           |
| 投資その他の資産       |                         |                               |
| その他            | 149,405                 | 128,339                       |
| 貸倒引当金          | △27,483                 | △27,054                       |
| 投資その他の資産合計     | 121,921                 | 101,284                       |
| 固定資産合計         | 205,374                 | 183,601                       |
| 資産合計           | 4,040,866               | 4,059,526                     |
| 負債の部           |                         |                               |
| 流動負債           |                         |                               |
| 支払手形及び買掛金      | 365,797                 | 425,516                       |
| 電子記録債務         | 172,256                 | 275,077                       |
| 未払法人税等         | 17,846                  | 8,760                         |
| 賞与引当金          | 16,020                  | -                             |
| 返品調整引当金        | 7,312                   | -                             |
| その他            | 149,999                 | 151,003                       |
| 流動負債合計         | 729,232                 | 860,357                       |
| 固定負債           |                         |                               |
| その他            | 34,714                  | 31,259                        |
| 固定負債合計         | 34,714                  | 31,259                        |
| 負債合計           | 763,946                 | 891,617                       |
| 純資産の部          |                         |                               |
| 株主資本           |                         |                               |
| 資本金            | 2,937,570               | 100,000                       |
| 資本剰余金          | 1,236,150               | 3,236,693                     |
| 利益剰余金          | △522,581                | 194,101                       |
| 自己株式           | △389,581                | △389,581                      |
| 株主資本合計         | 3,261,557               | 3,141,213                     |
| その他の包括利益累計額    |                         |                               |
| その他有価証券評価差額金   | 13,205                  | 5,339                         |
| 為替換算調整勘定       | 2,157                   | 21,355                        |
| その他の包括利益累計額合計  | 15,362                  | 26,695                        |
| 純資産合計          | 3,276,919               | 3,167,908                     |
| 負債純資産合計        | 4,040,866               | 4,059,526                     |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

|                     | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2021年4月1日<br>至 2021年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高                 | 2,903,183                                      | 2,849,162                                      |
| 売上原価                | 2,082,773                                      | 1,975,949                                      |
| 売上総利益               | 820,410  | 873,213  |
| 販売費及び一般管理費          | 1,134,363                                      | 983,532  |
| 営業損失(△)             | △313,953                                       | △110,319                                       |
| 営業外収益               |  |  |
| 受取利息                | 195  | 8,043  |
| 受取配当金               | 1,187  | 3,646  |
| 還付金収入               | 1,820  | -  |
| 協力金収入               | -  | 4,060  |
| その他                 | 1,519  | 2,994  |
| 営業外収益合計             | 4,723  | 18,744   |
| 営業外費用               |  |  |
| 支払利息                | 103  | 225  |
| 為替差損                | 3,535  | 1,816  |
| 株主優待関連費用            | 5,012  | 3,519  |
| その他                 | 181  | 146  |
| 営業外費用合計             | 8,833  | 5,708  |
| 経常損失(△)             | △318,063                                       | △97,283  |
| 特別利益                |  |  |
| 助成金収入               | 23,278   | 14,099   |
| 特別利益合計              | 23,278   | 14,099   |
| 特別損失                |  |  |
| 感染症関連損失             | 36,082   | 28,443   |
| 特別損失合計              | 36,082   | 28,443   |
| 税金等調整前四半期純損失(△)     | △330,867                                       | △111,627                                       |
| 法人税、住民税及び事業税        | 6,915  | 8,716  |
| 法人税等合計              | 6,915  | 8,716  |
| 四半期純損失(△)           | △337,782                                       | △120,344                                       |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △337,782                                       | △120,344                                       |

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

|                 | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2020年4月1日<br>至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2021年4月1日<br>至 2021年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純損失(△)       | △337,782                                       | △120,344                                       |
| その他の包括利益        |  |  |
| その他有価証券評価差額金    | 2,920  | △7,865   |
| 為替換算調整勘定        | △1,930   | 19,198   |
| その他の包括利益合計      | 989  | 11,333   |
| 四半期包括利益         | △336,792                                       | △109,010                                       |
| (内訳)            |  |  |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △336,792                                       | △109,010                                       |



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

これにより、従来は売上総利益相当額に基づいて「流動負債」に計上していた「返品調整引当金」については、返品されると見込まれる商品等の売上高及び売上原価相当額を認識しない方法に変更しており、返金負債を流動負債の「その他」に、返品資産を流動資産の「その他」に含めて表示しております。

また、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この変更により、当第3四半期連結累計期間の売上高が1,818千円減少しておりますが、損益に与える影響はありません。また、期首の利益剰余金への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

|                               | 報告セグメント |               |              |         |           | 調整額<br>(注) 1 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注) 2 |
|-------------------------------|---------|---------------|--------------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
|                               | きもの事業   | ライフスタイル<br>事業 | ファッション<br>事業 | マテリアル事業 | 計         |              |                                |
| 売上高                           |         |               |              |         |           |              |                                |
| (1) 外部顧客に対する売上高               | 525,122 | 364,930       | 1,175,869    | 837,261 | 2,903,183 | -            | 2,903,183                      |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高         | -       | -             | -            | -       | -         | -            | -                              |
| 計                             | 525,122 | 364,930       | 1,175,869    | 837,261 | 2,903,183 | -            | 2,903,183                      |
| セグメント利益<br>(又はセグメント<br>損失(△)) | △95,470 | 21,393        | △95,993      | △3,289  | △173,359  | △140,593     | △313,953                       |

(注) 1. セグメント利益の調整額△140,593千円には、セグメント間取引消去16,286千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△156,879円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

|                               | 報告セグメント |               |              |         |           | 調整額<br>(注) 1 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注) 2 |
|-------------------------------|---------|---------------|--------------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
|                               | きもの事業   | ライフスタイル<br>事業 | ファッション<br>事業 | マテリアル事業 | 計         |              |                                |
| 売上高                           |         |               |              |         |           |              |                                |
| (1) 外部顧客に対する売上高               | 561,358 | 332,370       | 999,558      | 955,874 | 2,849,162 | -            | 2,849,162                      |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高         | -       | -             | -            | -       | -         | -            | -                              |
| 計                             | 561,358 | 332,370       | 999,558      | 955,874 | 2,849,162 | -            | 2,849,162                      |
| セグメント利益<br>(又はセグメント<br>損失(△)) | △24,896 | 9,989         | 18,006       | 23,189  | 26,288    | △136,607     | △110,319                       |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△136,607千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織力の強化及び生産性の向上、組織を横断した商品開発、営業力強化を実現することを目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「和装事業」「寝装事業」「洋装事業」「意匠擦糸事業」から「きもの事業」「ライフスタイル事業」「ファッション事業」「マテリアル事業」に名称変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントに変更しております。

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「きもの事業」の売上高が1,766千円、「マテリアル事業」の売上高が53千円それぞれ増加し、「ファッション事業」の売上高が3,639千円減少し、全社で売上高が1,818千円減少しております。なお、セグメント利益への影響はありません。